

令和3年度

青葉小だより

学力特集号

令和3年12月13日
北九州市立青葉小学校
校長 千々和 道隆

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

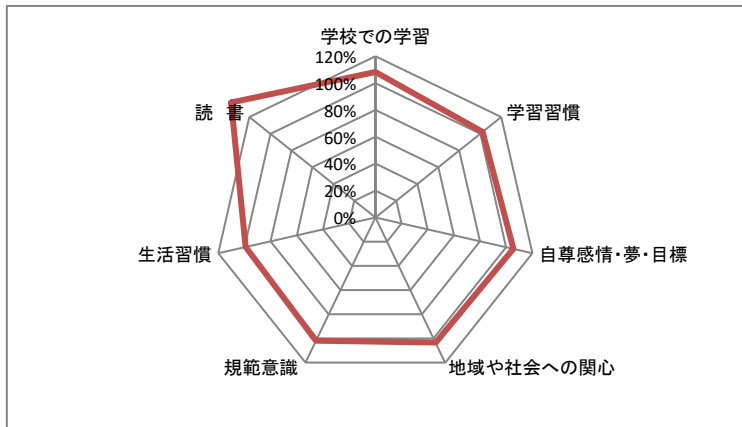
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	思考力、判断力、表現力等を問う内容(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)においては全ての区分で上回っている。しかし、知識及び技能を問う内容(言葉の特徴や使い方に関する事項)においては下回っている。	同程度である
算数	数と計算、図形、測定、データの活用においては上回っている。しかし、変化と関係においては下回っている。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
・「自分には、よいところがあると思いますか」、「将来の夢や目標を持っていますか。」に関して上回っているため、今後も、道徳や教育活動全体を通して考えさせていきたい。 ・「学校の授業時間以外に、平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。」に関しては1時間以上の割合がやや下回っている。また、30分より少ない割合が大きく下回っているため、家庭学習の大切さや方法を説明していく必要がある。 ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」に関しては当てる割合が大きく下回っているため、地域の行事等のPRを行っていく。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・「学びの質を高める授業」づくりの5つのポイントをもとに、「学び合う学習」「言語活動・表現活動の充実」に力を入れた授業づくりに努める。
- ・朝自習の確実な実施による補充学習の徹底を行う。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・夏休み前に「家庭学習の手引き」を配布し、家庭学習の習慣を身に付ける取組を行う。
- ・家庭学習の習慣を徹底するために課題として自主学習の推進を実施する。